



2023年1月から各地域でパイロットプロジェクトが本格始動したJICA・中米統合機構（SICA）が共同で実施している「SICA 地域における生物多様性の統合的管理と保全に関する能力強化プロジェクト、（以下、同プロジェクト）」同プロジェクトが活動するのは中米・カリブ海（ベリーズ、グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマおよびドミニカ共和国のSICA加盟8カ国で展開）。

今月号ではパイロットプロジェクト対象地である、中米最大の熱帯林「セルバマヤ」を紹介します。セルバとはスペイン語でジャングル（熱帯雨林）を意味します。セルバマヤは、ベリーズ、グアテマラ北部、メキシコ南東部に広がる熱帯林地域です（図1）。同地域で最も広大な熱帯林で、ペテンの常緑樹林からユカタン半島北部の乾燥林まで、重要な生態と環境勾配が存在するため、20以上の生態系が存在します。生物多様性が豊かな地域であり、絶滅危惧種であるコンゴウインコ、ジャガー、バグなどが生息しています。セルバマヤの固有種であるシロガメ (*Dermatemys mawii*) やクロホエザル (*Alouatta pigra*) など見られます。パンノキ (*Brosimum alicastrum*) やチクル (*Manilkara sapota*)、カカオの木、ミツバチなど農村住民にとって重要な代替収入や食料にもなっています。<sup>1</sup>

セルバマヤは先祖代々守られてきた土地であり、マヤ文化の一部でもあります。20以上の異なる民族で構成された文化多様性の非常に高いところ。今でもセルバマヤの森と共に暮らし、森から恩恵を受けて生活している人たちが多くいます。

一方でセルバマヤは森林火災、違法伐採、動植物の密売といった大きな脅威に直面しています。農業による土地利用の変化や、農薬などによる土壌劣化も大きな影響を及ぼしています。

同プロジェクトでは養蜂と気候変動に適応した野菜栽培、女性グループによる生計向上、若者間による情報共有を支援しています。



図1. 中米最大の熱帯林「セルバマヤ」の範囲  
出典：Selva Maya Programme



同プロジェクトのグアテマラ対象村落。国際 NGO Rainforest Alliance が荒廃した土地の植生回復を行なっている。



同プロジェクトで実施中の野菜栽培の圃場（ベリーズ対象村落）



同プロジェクトで支援している女性グループによる生計向上（ベリーズ対象村落） 写真提供：プロジェクトチーム

## マヤ文明

マヤと聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか？マヤ文明と答える方が多いのではないのでしょうか。マヤ文明は、現在のグアテマラ、ベリーズ、ホンジュラスとエルサルバドルの大部分、メキシコ南東部のテワンテペック地峡からユカタン半島全域を含むメソアメリカ南部のマヤ地域で、2500年以上の歴史を持つ民族と文化であったとされています。この地域では、何百ものマヤ遺跡が、少なくとも何らかの形で考古学調査や研究によって記録されていますが、小規模で未調査の（あるいは未知の）遺跡は非常に多く、ある研究では6,000以上のマヤ遺跡を記録しています<sup>2</sup>。よって、完全な考古学リストはまだ作成されていません。

グアテマラ熱帯林地帯で栄えたマヤ最大の神殿都市である「ティカル」は、貴重な遺跡および多様な生態系が評価され1979年にユネスコ世界複合遺産に登録されました。2011-2012年にティカル国立公園内にはODA政府開発援助によって文化遺産保存研究センターが建設されました。生物多様性の宝庫であるティカル国立公園内には、マヤの聖なる木とされる巨大なカポック (*Ceiba pentandra*)、ホンジュラスマホガニー (*Swietenia macrophylla*) などの木々や、ジャガーやプーマなどの野生動物も生息しています。

(最後に)

マヤの伝統的な生活、そして環境問題に直面する現代のマヤの人々を描いたドイツ人監督のドキュメンタリー映画「マヤ — 天の心、地の心 —」はお薦めです。



グアテマラの世界遺産ティカル国立公園内の大ジャガーの神殿



世界遺産ティカル国立公園内にある文化遺産保全研究センター



文化遺産保全研究センター内の展示品



ドキュメンタリー映画「マヤ — 天の心、地の心 —」

### 出典：

<sup>1</sup> Selva Maya Programme. *The tropical forest*. Selva Maya. <https://selvamaya.info/en/mayan-rainforest/the-selva/>

<sup>2</sup> Witschey, W.R.T. & Brown, C.T. (2010). *The Electronic Atlas of Ancient Maya Sites*. <http://mayagis.smv.org/>

### 参考リンク：

JICA 国際協力機構『プロジェクトページ』

[https://www.jica.go.jp/project/all\\_c\\_america/005/index.html](https://www.jica.go.jp/project/all_c_america/005/index.html)

JICA 国際協力機構『ODA 見える化サイト』

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1701704/index.html>

SICA 中米統合機構『OAR (地域環境プラットフォーム)』(スペイン語)

<https://www.sica.int/oar/>

### 執筆・写真：

JICA/SICA (中米統合機構) 生物多様性保全プロジェクト専門家  
博士 (森林生態学) 稲川 武  
[tinagawa@sica.int](mailto:tinagawa@sica.int)

ティカル国立公園内に生息するシロバナハナグマ (左)、マントホエザル (右)